

技術検討委員会資料

方法書の変更

平成25年3月22日



国土交通省 九州地方整備局
国土交通省 大阪航空局

▼方法書P.195

表4.2.1-1 大気質(窒素酸化物:建設機械の稼働)

窒素酸化物の拡散の特性を踏まえて調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 二酸化窒素の濃度の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1 に示す一般環境大気測定局である5地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点(1)の2地点とする。

2) 気象の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1 に示す福岡管区気象台及び福岡航空測候所の2地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点(1)の2地点とする。

▼方法書P.198

表4.2.1-2 大気質(窒素酸化物:資材等運搬車両の運行)

窒素酸化物の拡散の特性を踏まえて調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 二酸化窒素の濃度の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1 に示す一般環境大気測定局である5地点及び自動車排出ガス測定局である4地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2 に示す道路沿道大気質調査地点の2地点とする。

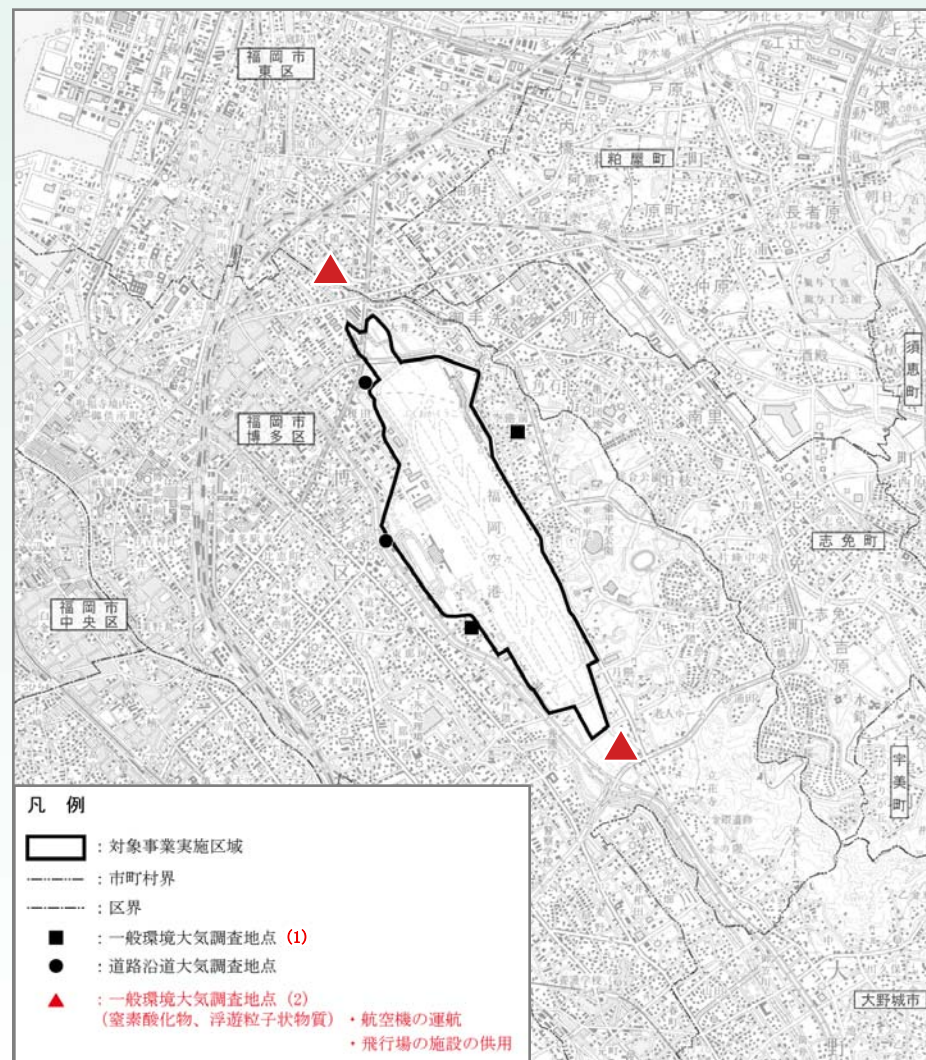
2) 気象の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1 に示す福岡管区気象台及び福岡航空測候所の2地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点(1)の2地点とする。

▼方法書P.197

図4.2.1-2 大気質調査地点位置図(現地調査)



▼方法書P.199

表4.2.1-3 大気質(窒素酸化物:航空機の運航)

▼方法書P.200

表4.2.1-4 大気質(窒素酸化物:飛行場の施設の供用)

窒素酸化物の拡散の特性を踏まえて調査地域における窒素酸化物に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 二酸化窒素の濃度の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1 に示す一般環境大気測定局である5地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点(1)(2)の4地点とする。

2) 気象の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1 に示す福岡管区気象台及び福岡航空測候所の2地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点(1)(2)の4地点とする。

▼方法書P.201

表4.2.1-5 大気質

(粉じん等:造成等の一時的影響、建設機械の稼働)

粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 降下ばいじん量の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1 に示す1地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点(1)の2地点とする。

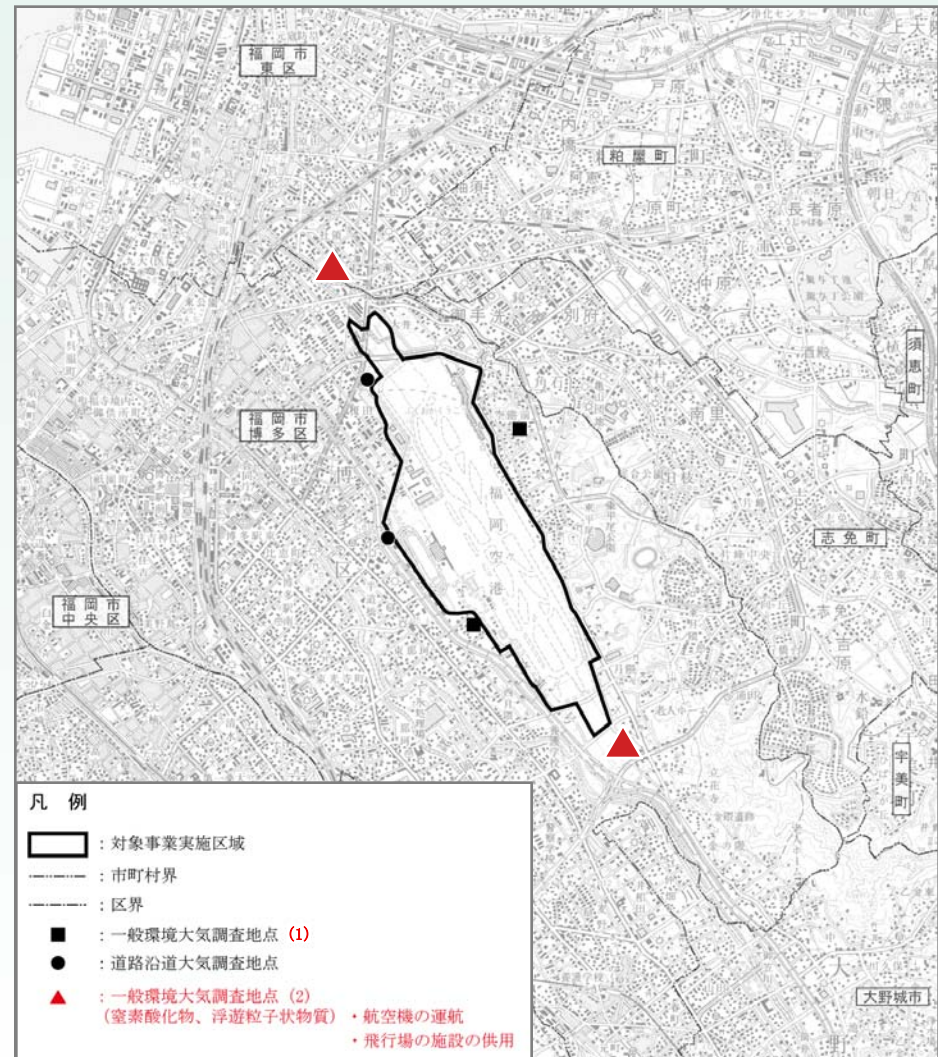
2) 気象の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1 に示す福岡管区気象台及び福岡航空測候所の2地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点(1)の2地点とする。

▼方法書P.197

図4.2.1-2 大気質調査地点位置図(現地調査)



▼方法書P.202

表4.2.1-6 大気質(粉じん等:資材等運搬車両の運行)

粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 降下ばいじん量の状況

[文献その他の資料調査] 図 4.2.1-1 に示す 1 地点とする。

[現地調査] 図 4.2.1-2 に示す道路沿道大気質調査地点の 2 地点とする。

2) 気象の状況

[文献その他の資料調査] 図 4.2.1-1 に示す福岡管区気象台及び福岡航空測候所の 2 地点とする。

[現地調査] 図 4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点 (1) の 2 地点とする。

▼方法書P.203

表4.2.1-7 大気質(浮遊粒子状物質:建設機械の稼働)

浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえて調査地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 浮遊粒子状物質の濃度の状況

[文献その他の資料調査] 図 4.2.1-1 に示す一般環境大気測定局である 5 地点とする。

[現地調査] 図 4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点 (1) の 2 地点とする。

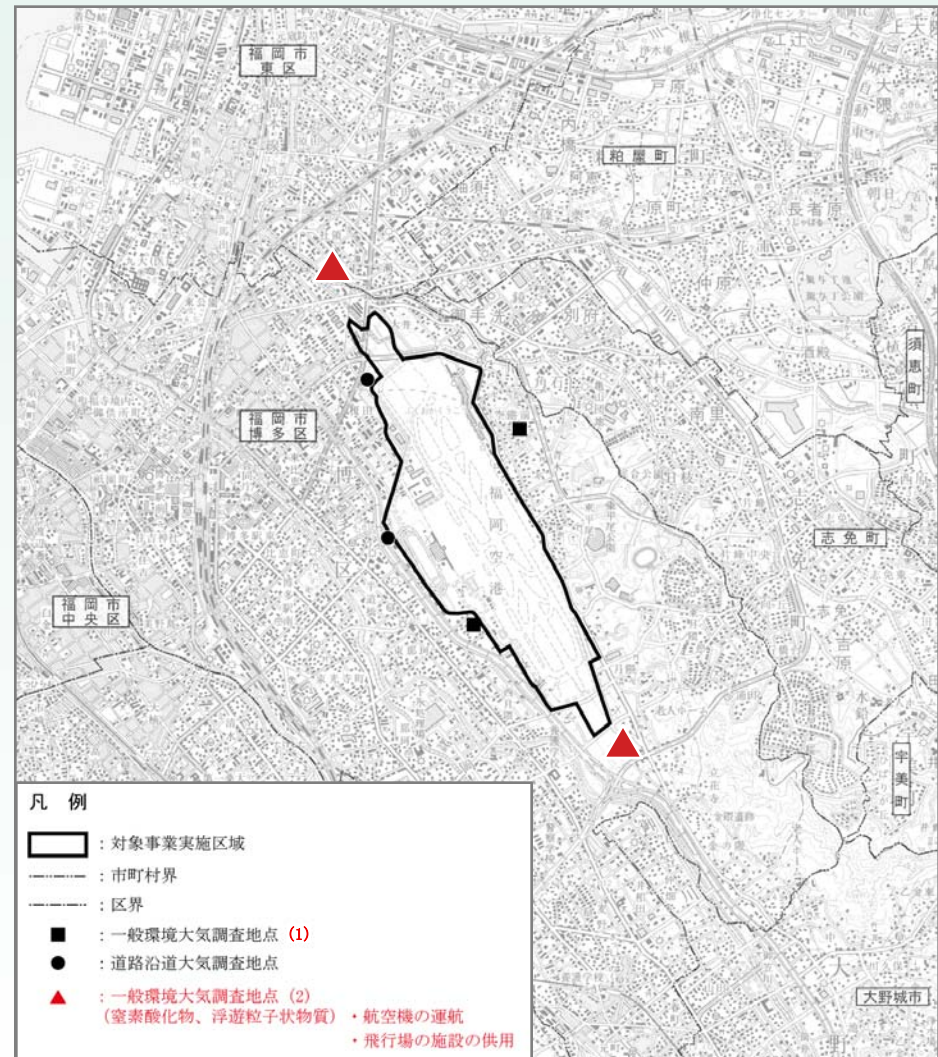
2) 気象の状況

[文献その他の資料調査] 図 4.2.1-1 に示す福岡管区気象台及び福岡航空測候所の 2 地点とする。

[現地調査] 図 4.2.1-2 に示す一般環境大気質調査地点 (1) の 2 地点とする。

▼方法書P.197

図4.2.1-2 大気質調査地点位置図(現地調査)



▼方法書P.204

表4.2.1-8 大気質(浮遊粒子状物質:資材等運搬車両の運行)

浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえて調査地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 浮遊粒子状物質の濃度の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1に示す一般環境大気測定局である5地点及び自動車排出ガス測定局である4地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2に示す道路沿道大気質調査地点の2地点とする。

2) 気象の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1に示す福岡管区気象台及び福岡航空測候所の2地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2に示す一般環境大気質調査地点(1)の2地点とする。

▼方法書P.205

表4.2.1-9 大気質(浮遊粒子状物質:航空機の運航)

▼方法書P.206

表4.2.1-10 大気質(浮遊粒子状物質:飛行場の施設の供用)

浮遊粒子状物質の拡散の特性を踏まえて調査地域における浮遊粒子状物質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 浮遊粒子状物質の濃度の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1に示す一般環境大気測定局である5地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2に示す一般環境大気質調査地点(1)(2)の4地点とする。

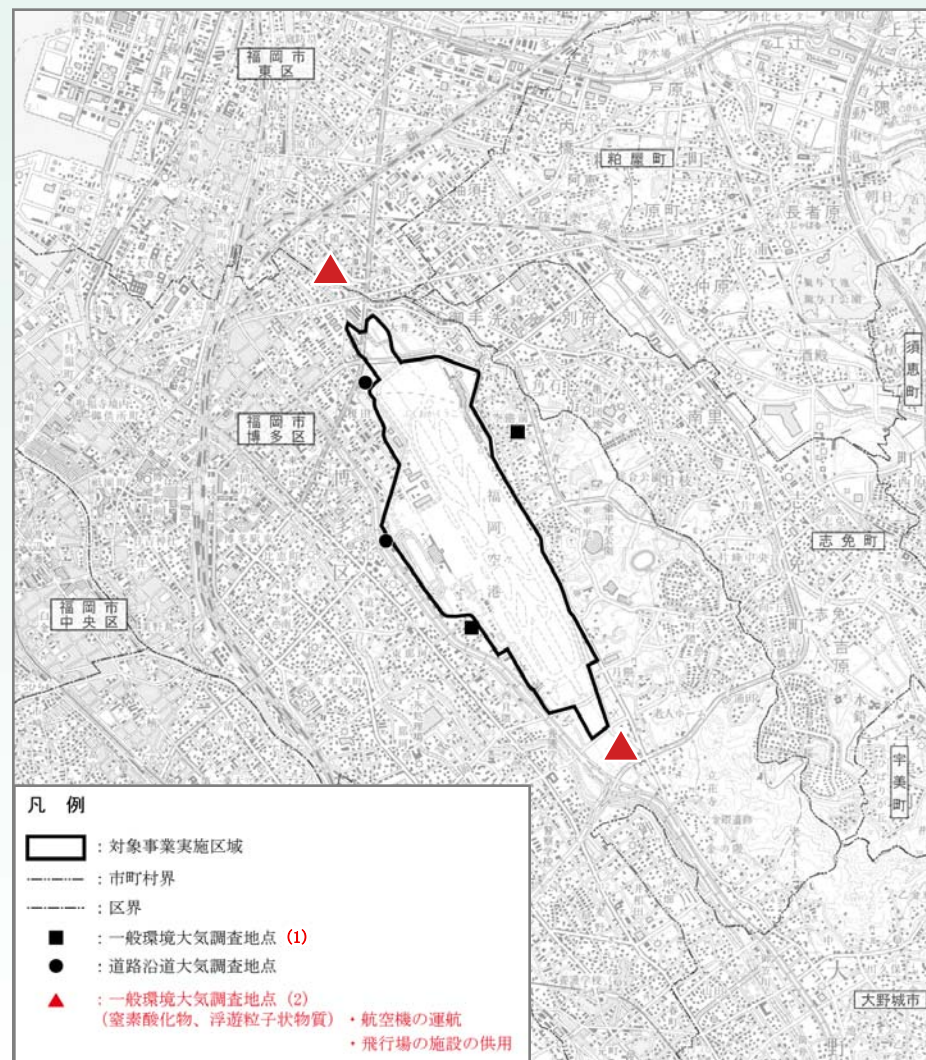
2) 気象の状況

[文献その他の資料調査] 図4.2.1-1に示す福岡管区気象台及び福岡航空測候所の2地点とする。

[現地調査] 図4.2.1-2に示す一般環境大気質調査地点(1)(2)の4地点とする。

▼方法書P.197

図4.2.1-2 大気質調査地点位置図(現地調査)



▼方法書P.211

表4.2.2-3 騒音(航空機の運航)

音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

[文献その他の資料調査] 図 4.2.2-3 に示す 21 地点(航空機騒音)とする。

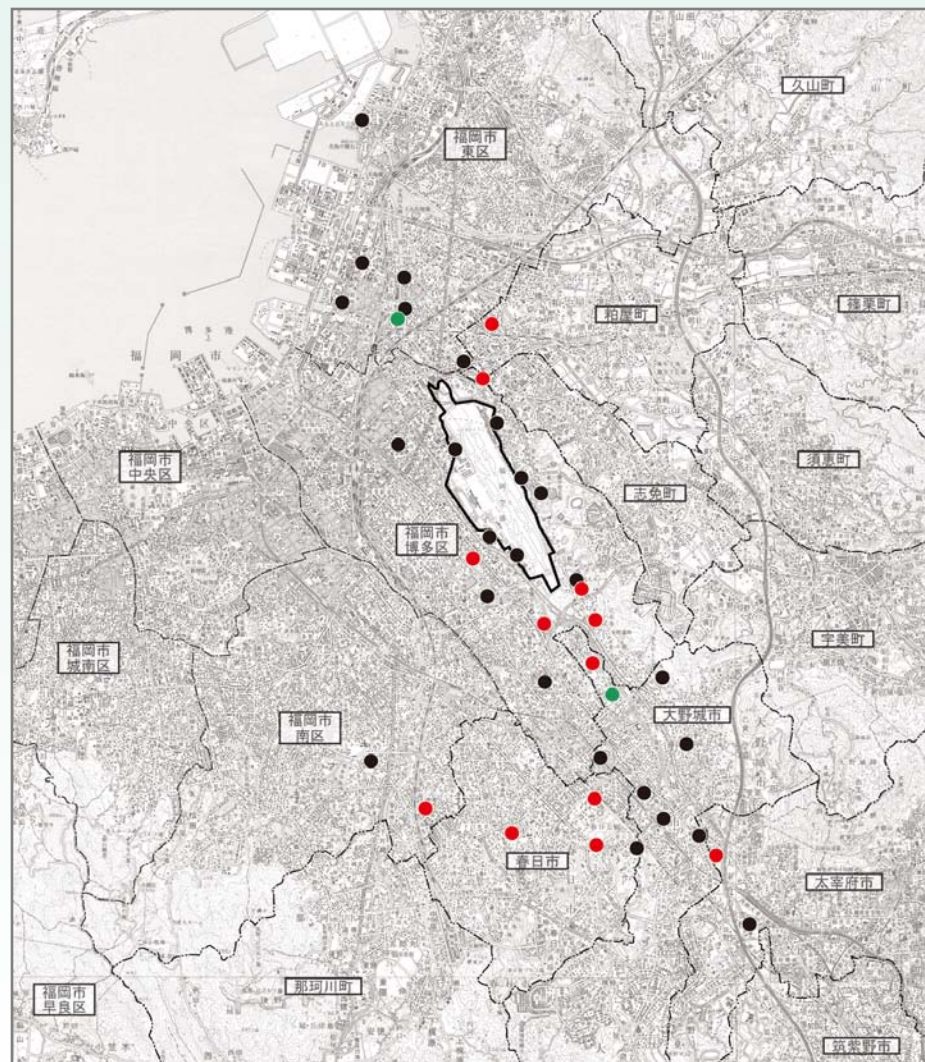
[現地調査] 図 4.2.2-4 に示す 39 地点(航空機騒音)とする。

▼方法書P.213

図4.2.2-4 騒音調査地点(航空機騒音)位置図(現地調査)

凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 市町村界
- : 区界
- : 航空機騒音調査地点
- : 航空機騒音調査地点(追加調査地点)
宮松小学校、仲島公民館(大阪航空局で継続して測定しているデータを利用する)
- : 航空機騒音調査地点(追加調査地点)



▼方法書P.207

表4.2.2-1 騒音(建設機械の稼働)

音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 騒音の状況

[現地調査]

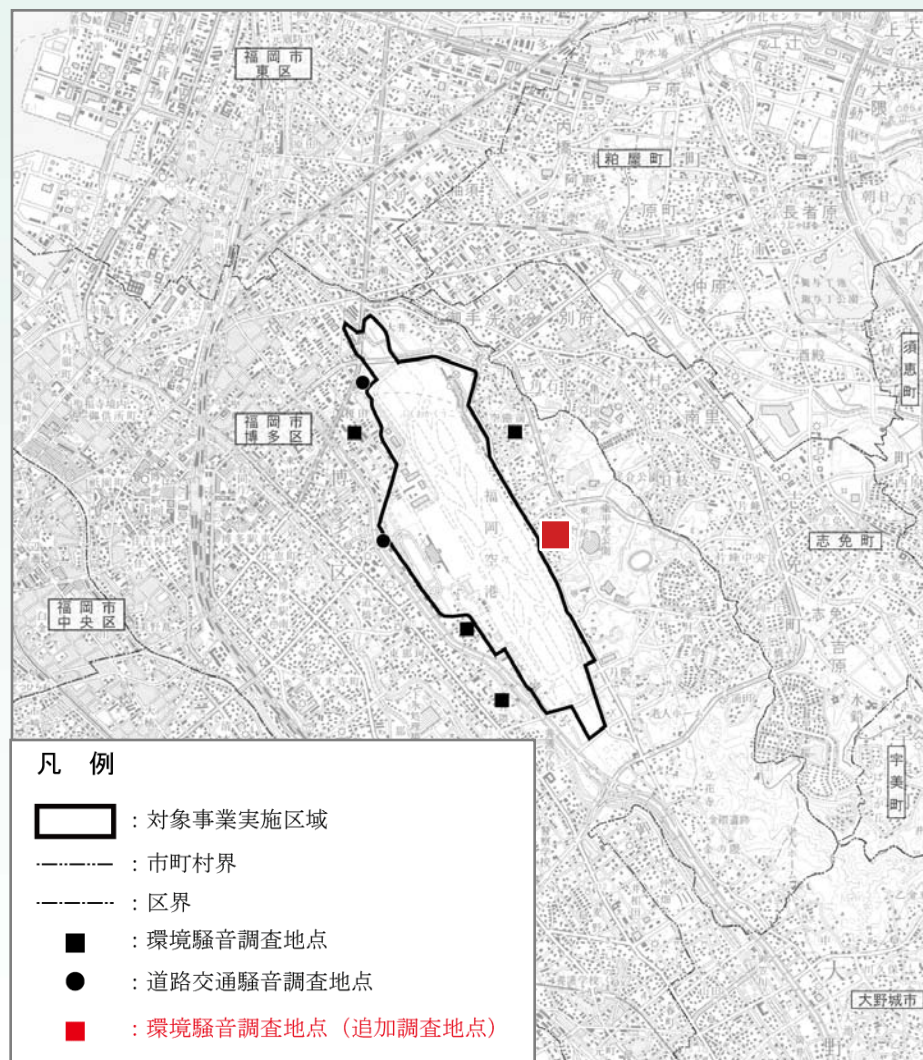
図4.2.2-2に示す5地点とする(環境騒音)。

2) 地表面の状況

[文献その他の資料調査] 騒音の状況の調査地点周辺において地表面の状況を適正かつ効果的に把握できる地点とする。

▼方法書P.210

図4.2.2-2 騒音調査地点(環境、道路交通騒音)位置図(現地調査)



▼方法書P.214

表4.2.3-1 低周波音(航空機の運航)

低周波音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における低周波音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 航空機運航時の低周波音

[現地調査] 低周波音の音圧レベルを想定し、図4.2.3-1に示す **14 地点** とする。

2) バックグラウンドとしての低周波音

[現地調査] 航空機運航時の低周波音と同じ図4.2.3-1に示す **14 地点** とする。

低周波音の伝搬の特性を踏まえて、調査地域における低周波音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯とする。

1) 航空機運航時の低周波音

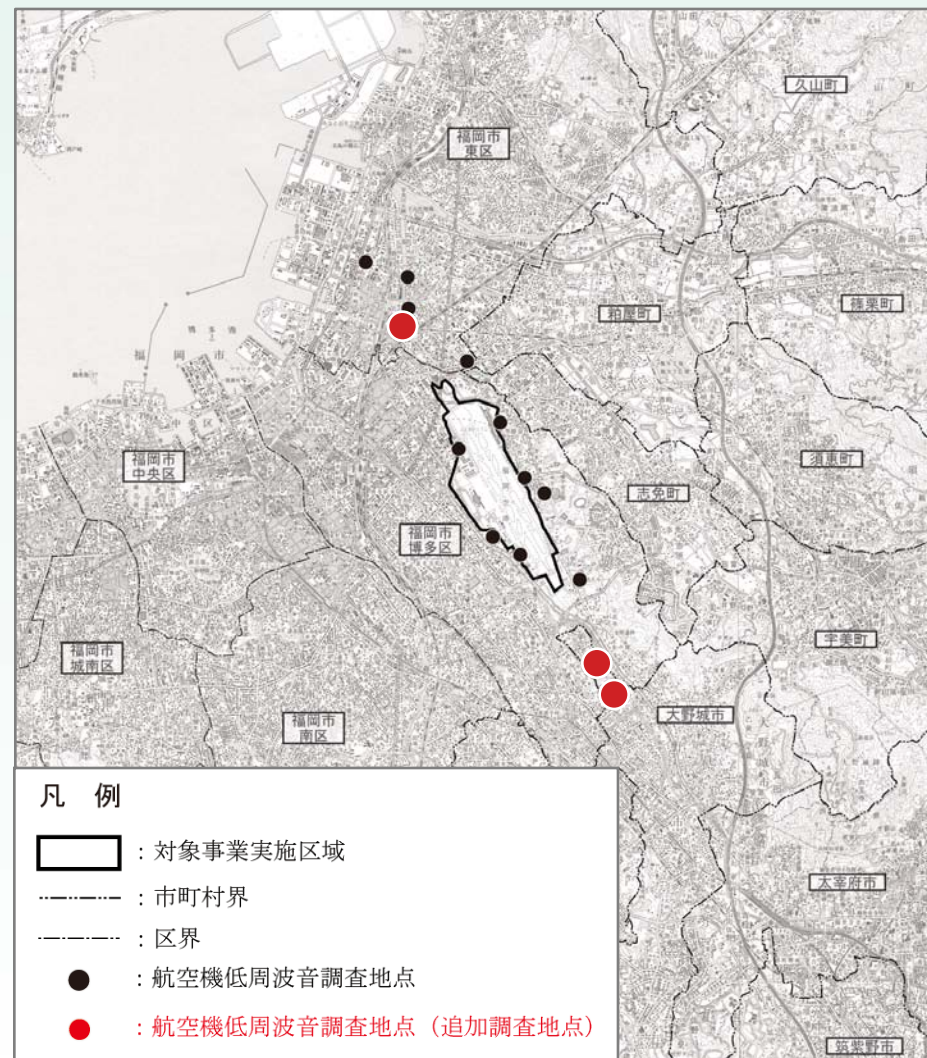
[現地調査] 夏季及び冬季の年2回、各 **2 日** とする。

2) バックグラウンドとしての低周波音

[現地調査] 夏季及び冬季の年2回、各 **2 日** とする。

▼方法書P.215

図4.2.3-1 低周波音調査地点(航空機低周波音)位置図(現地調査)



▼方法書P.216

表4.2.4-1 振動(建設機械の稼働)

振動の伝搬の特性を踏まえて調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とする。

1) 振動の状況

[現地調査] 図4.2.4-1 に示す **5 地点** とする(環境振動)。

2) 地盤の状況

[文献その他の資料調査] 対象事業実施区域及びその周囲とする。

▼方法書P.217

図4.2.4-1 振動調査地点(環境、道路交通振動)位置図(現地調査)

